月刊 あなたにこの本を！ 平成26年7月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

踊る!ブラジル
ー私たちの知らなかった本当の姿ー

田中克佳　写真・文
小学館　1500 円
(0012920783)

ジャンル ： 知識・教養を深める

10 年以上にわたり、南米で撮影、取材を続ける著者が、ワールドカップやオリンピック開催に沸くブラジルの知られざる姿を紹介する。例えば、サンバは「アフリカ系音楽」として昔は禁止されていたが、国を一つにする目的でブラジルを代表する音楽に選ばれたという。また、資源大国にも関わらず経済格差が生じる社会構造にも迫る。美しい写真が多数掲載されており、さまざまな人種や文化が入り混じり、多彩な輝きを放つ「虹色の大国」の実態が伝わってくる。〔302.62〕

今日の放課後、短歌部へ！

千葉　聡　著
ＫＡＤＯＫＡＷＡ　1200 円
(0012940374)

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

本書は、国語教師で歌人の著者が赴任先の高校での５年間を、短歌を挟みながらつづったエッセイだ。著者は、学校生活を詠む自分と、その短歌を読み味わう生徒や教師仲間がいる場所こそが短歌部だと気づく。授業中に才能がないと自嘲する著者に、励ましを込めて、夢を追いかける主人公の本を課題図書だと言って手渡す女子生徒のエピソードが心に残る。個性的な生徒や高校生活が作品を通して生き生きと浮かびあがり、青春のきらめきが感じられる。〔370.4〕

いい階段の写真集

ＢＭＣ編　西岡　清　写真
パイインターナショナル　2000 円
(0012879597)

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

本書は近現代のビルをこよなく愛する著者たちが、マニアックな目線から薦める階段のガイドブックだ。らせん階段の完璧な渦巻き、手すりの絶妙なライン、踏板の色合い、階段裏の美しさなど、多様な角度から撮影された写真に、階段の鑑賞ポイントや建物全体の案内文が添えられている。大阪府立中之島図書館や大丸心斎橋店本館、大阪駅前第2ビルなど、大阪市内に所在するものも多数収載されている。読後にはぜひとも実物を鑑賞し、昇り降りしてみたい。〔524.8〕

家電の科学
ーここまで進化した驚異の技術ー

山名一郎、家電テクノロジー研究会　共著
ＰＨＰ研究所　840 円
(0012883569)

ジャンル ： 知識・教養を深める

家庭用掃除ロボットには約 40 種のセンサーが内蔵され、床掃除を自動化することができている。電動アシスト自転車には速度を検知するセンサーと充電池の技術が活用されている。本書は、こうした最新の家電の仕組みと使われている技術をやさしく解説する。アインシュタインは相対性理論ではなく、太陽光発電に関する業績によりノーベル物理学賞を受賞しているなどといったコラムも充実している。家電製品の驚異的な進化を実感できる。〔545.9〕

わらべうたでゆったり子育て

相京香代子、深美馨里　共著
冨山房インターナショナル　1200 円
(0012916692)

ジャンル ：子どもの成長のために

わらべうたは赤ちゃんと大人が一緒に癒される最良のコミュニケーションツールだと、著者は子育て支援の現場で実感した。ゆったりと生の声でわらべうたを歌い、自然に心を通い合わす子育てを提案する。伝承のわらべうただけでなく、子どもと遊ぶ中で生まれた独自のうたも取りあげる。子どもの心身の成長にわらべうたが果たす役割を、自身の幼少期のエピソードを交え語り、子育ての悩みを解決するヒントも紹介する。子育てに励む人を応援する一冊だ。〔599〕

ぼくの絵本じゃあにぃ

荒井良二　著
ＮＨＫ出版　780 円
(0012921294)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

著者は国内外の著名な賞を受賞し、音楽活動やまちづくりイベントなどにも活躍の場を広げる絵本作家だ。本書では、自らの幼少期から絵本作家になるまでを振り返りながら、作品に込めた想いを語る。自由奔放な作風とは異なり、まずコンセプトをしっかり決めてから製作にとりかかるなど、創作過程はとても緻密(ちみつ)だ。これまで語られることのなかった創作秘話によって、苦悩しながらも、作品を作り続ける等身大の著者が浮き彫りにされる。〔726.6〕

夜間保育と子どもたち
ー30 年のあゆみー

全国夜間保育園連盟　監修　櫻井慶一　編集
北大路書房　2000 円
(0012902976)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

夜間保育とは、午前 11 時から午後 10 時まで乳幼児の保育を行うことをいう。働き方が多様化する中、通常の保育時間だけでは預けることができない保護者がいるとの声を受け、1981 年に制度が整った。本書では、熱意ある実践者や保護者の声、これまでの調査結果などをもとに夜間保育の実情を明らかにする。認可夜間保育園は、昼の子も夜の子も同じという理念を掲げ、長時間の就労と育児の両立に悩む家庭を支えている。今後の夜間保育の課題も提起した一冊。〔369.42〕